

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	東京芸術大学と連携した、アートによる地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	御牧ふれあいの郷づくり協議会 0268-67-3311
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 135, 242 円 (うち支援金: 750, 000円)

#### 事業内容

1 東京芸術大学と地域住民が連携した地域の特色を活かした作品の制作、展示、ワークショップの開催

- ①アート作品制作に向けた地域資源発掘ワークショップの実施 (平成28年度新規)
- ②北御牧地域の住民による、地元をテーマとした作品展示の実施 (平成28年度新規)
- ③アート自転車でサイクリング (平成27年度から継続)

2 地域住民と芸大が連携して企画、実施する音楽演奏会の開催

- ①音楽ワークショップーサウンドインсталレーション作品の体験
- ②音楽ワークショップ2ーサウンドインсталレーション作品の鑑賞



【北御牧地域の住民による、地元をテーマとした作品「稲架の衣替え」】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・ワークショップなどの準備等に、子どもから大人まで幅広い層の地域住民が参画し、地域づくりへの関心を誘うことができた。住民の地域参画への意識も高まっている。

- 1:地域資源を活用したワークショップ,  
当初予定参加者数 1,450 人ー参加者数 10,021 人(+8,571)
- 2: 地域住民と芸大が連携して企画、実施する音楽演奏会の開催  
当初予定参加者数 215 人ー参加者 707 人 (+492)
- 3: 来場者、参加者合計  
当初予定参加者数 1,665 人ー参加者 9,495 人 (+7,830)

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

予想以上の来場者にお越しいただいたことは、地域活動を続けるにあたっての自信となった。一方で、来場者が増えることでこれまで見えなかった多くの問題点(受け入れ態勢の未熟さ、地域活動のノウハウの少なさ、連絡系統の不備、集落間のコミュニケーションの不足等)が浮き彫りとなった。体制を再編し、これらの問題の改善を図り、活動を継続拡大していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

#### 【目標・ねらい】

- ①地域住民の参画を促す
- ②住民の地域活動への関心を促す
- ③地域外との交流の場を作る
- ④地域の文化振興を図る

#### ※自己評価【B】

【理由】「目標・ねらい」についてはおおむね達成できたと考える。運営に関しての反省点も多く、今後改善していきたい。さらに活動が拡がり、定着する可能性があると感じた。